

# チーム

東中学校  
女子バレーボール部通信  
NO. 175号  
7月17日(水)

## 3年生が残してくれたもの!

「ここまで頑張ってくれたのは、仲間のおかげ。」  
「家族の支えがあったらからこそ、これまで続けることができた。」

「何度も辞めたいと思ったこともあったが、最後まで続けてよかった。」

「愛日大会には出場できないけど、悔いはない。」  
「女子バレー部に入部してよかった。辛いこともたくさんあったけど、いろいろな面で成長することができた。」

「3年生・2年生・1年生、応援してくれる人みんな“全員バレー”をすることができた。」

「どんなことでも一生懸命やるということが大切だと思った。受験に向けても一生懸命取り組んでいきたい。」

「叱られた時に素直になれない自分がいた。でも今は、先生の気持ちが分かる。叱ってもらってよかった。」

「なかなかまとまることができなかったチームが、最後は一つになることができたと思う。東中女子バレー部員として、みんなと一緒に戦えたことに感謝。」

「何度も挫折を味わい、何度も辞めようと思ったけど、辞めなくてよかった。最後はとても楽しくプレーすることができた。」

「バレー部での生活は、私にとってかけがえない時間で、私をとっても成長させてくれた。」

「自分のやってきたことは無駄じゃなかったと最後に思えてよかった。」



### 【下級生にできること】

3年生の最後のバレーノートの一部です。残された2年生・1年生は、この文章から何を感じ、どう生かしていくか。本当の恩返しは、これからのあなたたちの行動です。



### 【3年生の保護者へ】

2年4ヶ月の間、様々な面のご理解・ご協力、ありがとうございました。瀬戸旭地区3位というこれまでの最高成績を収めることができましたが、子どもたちが望んでいた愛日大会出場は叶いませんでした。しかし、必死にボールをつなぎ、何度も何度も拾い続ける姿・ベンチや観客席から必死に応援する姿は、先生だけでなく見ている人の心を打ちました。

これで中学校バレーは終わりになってしまいますが、この2年4ヶ月で学んだこと・経験したことを、これからの生活の中で生かして行ってほしいと思います。またお時間があれば、いつでも体育館に足を運んでいただきたいと思えます。ありがとうございました。

